

一年の半ばを過ぎて梅雨眠し

教室やあかあか梅雨の灯を点し

梅雨の夜の雨垂れの音やがて消ゆ

降る方も降らるる方も梅雨長し

梅雨深し昼にも見ゆるネオン塔

R? 雨の字の中も土砂降り梅雨つづく

長梅雨は降り続くなり降り続く

梅雨深し昼は灯らぬネオン塔

R 折紙の裏側さびし梅雨の夜

梅雨の日々梅雨曇りなる日を挟み

ふりつづく梅雨の影なき世界かな

梅雨深し黄泉の泥濁血の色に

夕焼の淡々長し梅雨の果

梅雨じめりしてゐるものへ扇風機

右の頬に左の頬に梅雨の髯

止めるのも面倒臭いと梅雨続く

時差呆けのやうな雲行く梅雨の日々

梅雨の夜にむすつとあるは落花生

梅雨眠したただただ眠し日曜日

荒梅雨や流るる川を叩きつつ

青梅雨の稲まつすぐに立てりけり

梅雨眠し老いたる猫の如くをる

図書館へ梅雨のお濠を渡りけり

だらだらと梅雨空つづく玉子焼

悠々と梅雨を愉しむ大河あり

荒梅雨や蟻も蚯蚓も土の中

梅雨の畑莢となりたるものを垂れ

梅雨の夜の重たき月がまんまるに

梅雨空のグラデーシヨンの濃きところ

梅雨の夜に吊す大きなバスタオル

梅雨の夜の雨垂れが消え月明り

淡々と梅雨を彩るものものあり

再?、玄関は靴の港や梅雨の夜

煙突に縦長の闇梅雨深し

荒梅雨の書類に印を点じたる

横にして傘をバサバサ梅雨の日々

送

6.23 10am  
6.23 10am  
6.23 10am

6.25 am

6.12 11:35 pm

長梅雨 6.23 11:15 am

6.24 10am 竹井

梅雨深し 6.27 3:43am

一隅に一夜をあかす梅雨の傘

長梅雨の苗の川の暗きかな

外に差し傘立に刺し梅雨の傘

蟻の巣の分れ分るる梅雨湿り

骨あまたぐいと曲げたる梅雨の傘

花園の花みな梅雨の空の下

骨数多くぐいと曲げたる梅雨の傘

夏至よりも梅雨の思ひの濃かきけり

差すときも干すときも傘ひろく梅雨

降り続く梅雨の緩急自在なり

母屋から離れへ梅雨の傘さして

赤に黄に傘や合羽や梅雨染し

荒梅雨の袋ぶらぶらランドセル

梅雨の町地元の人に打ち混じり

茫々と水の近江の梅雨景色

荒梅雨やマンションもある大通り

梅雨の夜の日は無聊を託つなり